［た　よ　り］

広島県支部だより

土谷晋一郎

日本透析医会広島県支部は，広島県透析連絡協議会という名称を使っております．日本透析医会が，1979年4月15日，都道府県透析医会連合会として結成されましたが，それ以前に広島県では，広島県透析連絡協議会を立ち上げていましたので，名称変更せずに，現在に至っております．広島県内の透析施設89施設中78施設が加入しています．以前，日本透析医会雑誌20巻3号（2005年12月）に「広島県支部だより」を寄稿していますので，重複を避けて最近の話題を中心にお伝えしたいと思います．

1　災害対策について

広島県透析連絡協議会では，2004年，広島県災害時ネットワークメーリングリスト作成の準備に取り組み，同年8月に広島県災害時ネットワークメーリングリストを完成しました．第1回中国地区合同透析医療災害対策会議（2004年9月18日）では，中国ブロック5県合同ホームページを中国5県に開設すること，中国5県で日本透析医会災害時情報伝達訓練に参加すること，また毎年中国地区合同透析医療災害対策会議を招集すること等が決められました．このホームページは年々バージョンアップされ，現在では，ネット上で患者移送のやり取りが一覧表示で簡単に行えるようになっています（http://www.gis.or.jp/otb）．

このホームページにアクセスした画面が**図1**です．広島県透析連絡協議会をクリックし，ユーザーID，パスワードを入力するとログイン画面となります（**図2**）．災害情報ネットワークをクリックし，被災あり，あるいは被災なしと報告します．被災ありの場合の入力画面です（**図3**）．各施設が入力した情報を確認する画面です（**図4**）．このホームページには，google MAPと電子国土を用いて中国5県の透析施設が登録

図1　トップページ画面

図2　ログイン画面

広島県透析連絡協議会会長

図3　災害情報ネットワーク画面

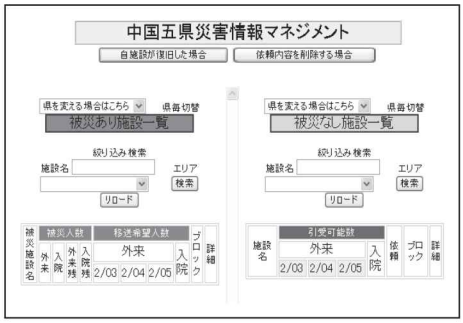

図4　災害情報確認画面

図5　google MAP を用いた施設登録

されています（**図5**：google MAP の一例）．患者の入力サイト（**図6**）および透析関連業者の入力サイトも組み込まれています．

2009 年 11 月 8 日に第 62 回広島医学会総会が開催されましたが，シンポジウムのテーマが「広島県における災害時医療～要援護者支援体制について～」でした．透析医療災害対策について，広島県透析連絡協議会からシンポジストを出して発言するよう依頼され，

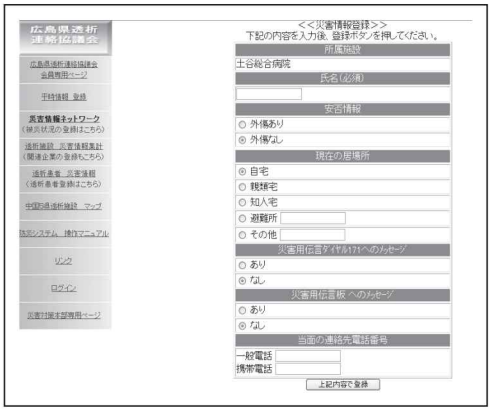

図6　患者の入力サイト

その後論文にまとめております[1]．

2　広島県腎友会

広島県腎友会（患者会）は今年で創立 40 周年を迎えます．1970 年に人工腎友会として全国に先駆けて結成され，腎提供登録の街頭キャンペーン，国会請願署名や募金運動，厚生労働省への陳情等，様々な活動をされてこられました．2010 年 6 月 13 日（日），広島県腎友会 40 周年記念総会が開催され，40 周年記念誌が発刊される予定と聞いております．

3　新型インフルエンザ対策

2009 年 5 月，広島県腎友会から，新型インフルエンザ対策について広島県透析連絡協議会に強い不安の訴えがありました．その後，6 月 19 日に広島県腎友会同席のもと，広島県健康福祉局と協議しました．広島県透析連絡協議会からは，

① 新型インフルエンザワクチンを末期腎不全患者へ優先的に接種してほしい
② 感染拡大期・まん延期にタミフルを透析患者へ優先的に供給してほしい
③ 個々の透析施設で，新型インフルエンザに対してどういう対策をとるべきか，行政からの公文書等での指示をしてほしい

という 3 点を要望しました．

広島県からは，

① ワクチンに関しては，先ず国の方針が示されてから，それに準じて県として検討する
② タミフルの備蓄は十分ある
③ 感染者がでた場合，日本透析医会・日本透析医学会作成の「透析施設における新型インフルエン

ザ対策ガイドライン」に示されている対応をとって欲しい．施設への負担，患者さんへの負担，それぞれがかかってくると思われるが，対処する方法をお互いに知恵を出し合って考えたい．透析以外の診療分野のことを考えると，透析医療分野にだけ指示を出すことは難しい．今のところそれぞれの診療分野で自主的に検討してもらうしかない，という返答でした．

2010年2月4日，広島県では，インフルエンザ警報が解除され，今シーズンは大きな感染被害もなく無事に終えたようなムードですが，今後も予断が許されない状況にあることには変わりありません．

文　献

1）土谷晋一郎：透析医療災害対策について．広島医学，63；73-81，2010.